



【学習目標】

対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材

教科書 「図画工作 5・6 年下 わたしとひびき合う」 ( 日本文教出版 )

持ち物

教科書 のり はさみ  
 コピー 絵の具セット 筆箱 下敷き タブレット

その他必要なものについては、その都度連絡させていただきます。

【学習の約束】

- いろいろな形や色など、自分のイメージをもちながら取り組みましょう。
- 道具や用具の使い方を知り、安全に使いましょう。
- 自分や友達の作品の面白さや楽しさを見つけましょう。
- 道具の使い方や片付けのルールを守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう  
【学習内容】

ぜんき 前期	こうき 後期
<p>え かんしやう じぶん て (絵・鑑賞)「自分の手」</p> <p>え かんしやう すみ みず ひろ せかい (絵・鑑賞)「墨と水から広がる世界」</p> <p>え こうさく かんしやう ゆめいろ き (絵・工作・鑑賞)「いろいろ夢色の木」～スポンジを使ったステンシル技法～</p> <p>りったい かんしやう みらい (立体・鑑賞) 未来のわたし</p>	<p>こうさく かんしやう そつぎやうき ねん さくひん (工作・鑑賞) グランドボックス～卒業記念作品～</p> <p>ぞうけいあそび しぜん かん (造形遊び) 自然を感じるすてきな場所で</p> <p>え おもて (絵) 思い出のランドセル</p> <p>※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習する順序を変える、または実施できない場合もあります。</p>

ひやうか かんてん ばめん ほうほう  
【評価の観点および場面・方法】

ひやうか かんてん 評価の観点	ひやうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
<p>技 知 能 の 識 ・ え こうさく など で じぶん の あらわ 絵や工作などで自分の表したいものをつくる。</p>	<p>じゆぎやう しようす さくひん さく はつげん はつびやう さくひん え りったい こうさく ぞうけい ゆ 授業の様子 (作品作り・発言・発表)、作品 (絵・立体・工作・造形遊び)</p>
<p>思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 ゆた はつそう かわ かた くふう 豊かな発想をし、表し方を工夫する。</p>	<p>じゆぎやう しようす さくひん さく はつげん はつびやう さくひん え りったい こうさく ぞうけい ゆ 授業の様子 (作品作り・発言・発表)、作品 (絵・立体・工作・造形遊び)</p>
<p>さくひん 作品のよさやおもしろさに気づく。</p>	<p>じゆぎやう しようす さくひん さく はつげん はつびやう さくひん え りったい こうさく ぞうけい ゆ かん 授業の様子 (作品作り・発言・発表)、作品 (絵・立体・工作・造形遊び)、鑑賞の様子、ワークシート</p>
<p>に 主 取 体 組 的 む 的 お 学 む 習 態 が た く し しゅたいてき ず が こうさく がくしゅう と くりく 主体的に図画工作の学習に取り組む。</p>	<p>じゆぎやう しようす はつげん はつびやう かわ 授業の様子 発言・発表 ふり返り</p>